



次世代の匠を育てるために

全国的に問題になっている職人の担い手不足。酒田には地域の職人たちが若手職人を育てる取り組みがあります。庄内職業高等専門学校は地域の若手職人の育成と技術向上を目的に開設され、若手職人が働きながら週1回基礎知識や技術を学ぶ場。現役の設計士や職人などが講師をしているのが特徴です。伊藤さんも主に神社仏閣の銅板葺きを手がける板金職人で、過

去には県の卓越技能表彰などの受賞歴もある匠です。昔ながらの保守的なやり方では職人は育たない。教室に入ると既に実習中の訓練生から「先生！」と指南を仰ぐ声が掛かり、「ここはもう少し叩いたほうがいい」「こうするともっと簡単」と声を掛けていく伊藤さん。教室中を移動し一人一人の作品を

振り返ります。普段は瓦屋根工事を主に扱う職人で「瓦屋根工事に付随する板金も本腰を入れない」と会社からの後押しもあり同校で学んでいます。仕事との両立については「スケジューリング的な面が一番大変です。仕事は庄内一円のほか、仙台市付近にも営業所があるため月の半分出張していることもありま

す。特に大会前は出張や台風による現場工期のずれ、子どもの行事も重なって練習したくても時間が取れなくて大変でした。それでも新しい知識や技術を身につけられる学校生活は充実しています。その道の匠に教えてもらうだけでなく、疑問点を話し合い技術を高め合える仲間がいるのも心強い」と話す笑顔から充実した毎日が伺えます。

仕事との両立は大変ですが得るものが多いんです

前ページで紹介した、伊藤さんの教え子の1人、若年技能者技能競技大会建築板金部門で優勝した後藤正勝さんは「まさか自分が優勝するとは思っていませんでした。うれしかったです」と大会を

研鑽を重ねる未来の匠

庄内職業高等専門学校 建築板金科2年
後藤 正勝さん (機杉野瓦産業)
GOTO MASAKATSU



技術をとことん極めたい

好きなことを突き詰めたいタイプで凝り性という後藤さん。取材の日も撮影用に鉄板を叩いてもらいましたが、納得のいく出来になるまで何度もやり直す姿がありました。「完成したものが頭の中で思い描いていたイメージ通りだったときが一番うれしいです。私たちの仕

手に取りながら指導を繰り返します。職人は技術の普及に保守的なイメージを持っていた記者が丁寧な指導ぶりに驚いていたと「昔の職人は技術を外に出したことがなかった。若手は作業の様子を見ることもできず、出来上がった作品から研究するしかなかったんです」と話してくれました。「自分が苦労した経験から、まずは手本を見せその後に作業させる指導を心がけています。教え方一つで伸び方は全然違うので、若手以上に勉強して、一人一人のレベルに合わせた指導方法を考えています」と指導のための工夫や努力は惜しみません。

また「どの項目も最初は一般的な方法を教えますが、私の経験から効率がいいと思う方法も教えます。完成度の高さはもちろんですが、仕事となると早さも必要ですから」と現役の職人ならではの教えも。指導の成果は生徒の成長に表れます。「今年10月に行われた県内の若手技術者の技術を競う若年技



特集 SPECIAL EDITION

事は、形になって長く残りますから妥協はできません」という言葉から後藤さんの仕事に対する姿勢が見えました。直近の目標は建築板金技能士1級の取得。「難しい試験ですが1回で合格したいです」と日々鍛錬を重ねています。「ゆくゆくは神社仏閣など社寺建築にも関わられたらと考えています

が、まずは取引先やお客さんから後藤さんに任せたら安心と言われるような、マルチな職人になりたいです」と目標を話してくれました。「職人の技術は上を見たらキリがありませんが、日々勉強して少しずつ成長できればいいですね」と後藤さん。未来の匠の挑戦はこれからも続きます。



能者技能競技大会では本校の生徒3人が上位3位を独占しました。生徒の成長を見るのが一番うれしいですね」と目を細めます。「今後も若手職人への技術普及に尽力したい」と話す伊藤さん。「自分の持つ知識や技術を惜しみなく伝えた卒業生たちから輪が広がり、地域全体の技術力を底上げできたらいいですね。そのためにまだまだ頑張ります」と笑顔で語ってくれました。休み時間、生徒に伊藤先生について聞くと「自分たちが納得するまでとことん付き合ってくれる。頼もしい先生です」と声をそろえていました。匠であり熱血先生でもある伊藤さんの技術は、これからも地域に広がり続けます。



匠の肖像

山形県内の若年技能者が自らのスキルを競う「若年技能者技能競技大会」。今年は10月6日に河北高等技能専門学校(河北町)で行われ、建築板金部門で庄内職業高等専門学校の訓練生3名が1位、2位、3位を独占しました。

若年技能者技能競技大会

【建築板金部門】

- 第1位 後藤 正勝さん
- 第2位 伊原 光洋さん
- 第3位 芝田 隼平さん

職業訓練法人 庄内職業訓練協会
庄内職業高等専門学校

住所 酒田市ゆたか3丁目7-12
電話 33-3020
訓練科 木造建築科、
左官タイル施工科、
建築板金科

URL http://www.akumi-kenso.com

平成31年度訓練生を募集しています。

まとめ

伝統を守り酒造りに魂を込める後藤さん、独学で技を磨き挑戦を続ける渡部さん、自らも職人として活躍しながら培った技術を次の世代に伝える伊藤さん、さまざまに匠の姿がありました。そして、未来の匠を目指し日々鍛錬を続ける後藤さん。時代が移り変わっても職人によって受け継がれ、本市を支えている技術。これからも大切にしていきたいですね。